

1	定住促進事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
---	---------------	---------------	--------------

事業の概要・ 実施方針	<p>魅力あるイベントの開催や情報発信による交流人口の増加を図り、定住への足がかりとします。</p> <p>今年度は、町内で実施されているイベントの検証を行うとともに、次年度以降のイベント開催へ向けて検討を行い、交流人口の増加を図ります。</p> <p>また、ホームページのリニューアルに伴い、空き家を調査し、移住・定住のホームページを充実させ、移住を検討している人が必要とする情報を入手できるようにします。</p>
----------------	--

		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
進行管理	前期	随時 町内で実施するイベントの効果測定 8月 移住定住ホームページの試行運用	7月 真夏の夜の鼓動アンケート実施 8月 商工会夏祭りアンケート実施 9月 フロンティア祭りアンケート実施 9月 移住者取材実施
	後期	12月 移住・定住ホームページの本格運用	

目標管理	成果目標・数値目標等		
	移住・定住ホームページの運用開始 12月 移住定住に関する相談件数 10件 イベントの効果検証件数 5件		
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率
	イベント効果検証実施件数 3件 移住者取材 1件 移住定住に関する相談件数 0件		45 %
目標達成に向けての後期の取り組み			
移住者向けパンフレットの作成 移住・定住ホームページの作成、運用開始 来年度以降の移住者支援策の検討			

2	婚活支援事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
---	---------------	---------------	--------------

事業の概要・実施方針	<p>現在実施している県南9市町村の「ふれあいの場」創出事業を継続しつつ、町独自の婚活支援を検討します。 婚活のパーティーだけでなく、出会いの場となるイベントやサークル等を検討し、男女の出会いを支援します。</p>
------------	--

進行管理		実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	随時 実施 随時 実施 随時 実施	ふれあいの場創出事業イベント 結婚セミナー実施 町独自の婚活支援の検討、視察	● 出逢い&ふれあいの会の実施 7月… 18組のカップル成立 9月… 6組のカップル成立 ● 先進地視察 7月…全国結婚応援フォーラムinいばらき
後期	随時 実施 随時 実施 12月	ふれあいの場創出事業イベント 結婚セミナー実施 町独自の婚活支援の企画	

目標管理	成果目標・数値目標等		
	宣伝方法等の改善により、矢吹町からのふれあいの場創出事業の参加者の増加。目標20名。 (H27参加者16名) 町独自の婚活支援を検討し、男女の出会いの場を創出します。		
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率
	出逢いふれあいの会矢吹町からの参加者 7月…男性3名、女性2名 9月…男性1名(女性は県南地区外からの募集)		50 %
	目標達成に向けての後期の取り組み		
出会い&ふれあいの会の参加者確保のため広報活動を行うとともに、年末以降において福島県のマッチングシステムが運用開始されるため、参加者確保に向けて調査検討を行う。			

3	企業誘致促進事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
---	----------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	地域経済の発展と産業活性化と合わせ町内雇用の拡大を図るため、町内外の企業等に対し町内誘致を積極的に働きかけます。
------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)	
	前期	4月～県等関係部署との協議 5月～企業に対する進出意向調査 7月～調査内容による誘致活動 適宜 立地適地への誘導斡旋 通年 企業誘致専門員による企業訪問及び誘致活動を行います。	随時 県及び国との協議実施 8月 東京・大阪事務所との情報交換 8月 企業進出意向調査 1,200社 随時 現地案内 3社 随時 町内企業訪問 50件以上 随時 町内企業訪問 50件以上	
後期	2月 企業立地セミナー参加			

目標管理	成果目標・数値目標等		
	3件の新規誘致を目指します。		
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率	
	3社について、新規進出及び規模拡大、増設に伴う町内移転についての具体的相談を受けています。	50	%
目標達成に向けての後期の取り組み			
企業進出意向調査の結果をもとに企業訪問を実施し、増設、移転及び新規進出相談のある企業に対し、町内誘致を引き続き行います。			

4	県営工業団地整備支援事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
---	---------------------	---------------	--------------

事業の概要・ 実施方針	<p>県の復興工業団地の候補地としている井戸尻地内「第2苗畑跡地」の整備を強く求めながら、周辺地域のインフラ整備等を進め、合わせて企業への誘致斡旋活動を積極的に行い、県営工業団地の整備実現を図ります。</p>
----------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	<p style="text-align: center;">前期</p> <p>4月～県等関係部署との協議 5月～企業に対する進出意向調査 7月～調査内容による誘致活動 適宜 立地適地への誘導斡旋 通年 企業誘致専門員による企業訪問 及び誘致活動を行います。</p>	<p>随時 国県との協議 8月 企業進出意向調査 1,200社 随時 現地案内 10件以上 随時 町内企業訪問 50件以上</p>
	<p style="text-align: center;">後期</p> <p>適宜 立地適地への誘導斡旋 通年 企業誘致専門員による企業訪問 及び誘致活動を行います。</p>	

目標管理	成果目標・数値目標等		
	<p>県営工業団地の整備までの道筋を確立し、国県及び関係機関等と協議を進めます。</p>		
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率
	<p>国関係機関との協議 1回 東京・大阪事務所訪問 3回 町内企業訪問 50件以上</p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">50 %</p>	
	目標達成に向けての後期の取り組み		
<p>企業進出意向調査の結果をもとに企業訪問を実施します。 更に企業情報の収集に努めます。</p>			

5	商業活性化対策推進事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
---	--------------------	---------------	--------------

事業の概要・ 実施方針	<p>空き地・空き店舗を解消し、地域経済の活性化を図るため、賃貸料の補助をはじめとした助成制度等を有効活用し、町内外の各種商店の誘導誘致を積極的に行います。なお、商工会との定期的な情報交換を行うなど連携を密にし、既存店舗の経営力強化も進めてまいります。</p>
----------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)	
	前期	4月～空き地・空き店舗の現状及び所有者意向の調査 毎月 商工会等団体との定期協議 随時 補助制度等の調査・策定 通年 町内外各種商店誘致活動実施		毎月 商工会等団体との協議 適宜 町内外の店舗訪問を実施
後期	前期継続			

目標管理	成果目標・数値目標等			
	3店舗の新規出店を目指します。			
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率	
	町内新規出店 2件		70	%
	目標達成に向けての後期の取り組み			
空き地・空き店舗の現状及び所有者意向の把握に努め、また店舗誘致を積極的に行います。				

6	産業祭開催事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
---	----------------	---------------	--------------

事業の概要・ 実施方針	<p>第6次矢吹町まちづくり総合計画のキャッチフレーズ「未来を拓く日本三大開拓地」を踏まえ、祭りの名称を変更し、開拓地のコンセプトのもと、町の農商工業者や関係団体が一丸となり町産業や町の魅力を内外に発信する祭りを実施します。</p>
----------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
前期	5月 実行委員会総会 随時 実行委員会 6月～7月 出店者募集 8月 周知活動 9月11日 開催	5月 新名称の投票実施 6月29日 第1回実行委員会（やぶきフロンティア祭りに決定） 7月～8月上旬 出店募集 8月18日 出店者説明会 8月26日 第2回実行委員会 8月下旬～9月上旬 周知活動 9月11日 「やぶきフロンティア祭り」開催
後期	10月 実行委員会(反省と来年度に向けた検証)	

目標管理	成果目標・数値目標等	
	来場者数 15,000人 出店者数 90団体 ※参考 実績 平成27年度 来場者数14,000人 出店者数88団体 平成26年度 来場者数14,000人 出店者数77団体 平成25年度 来場者数10,000人 出店者数67団体 平成24年度 来場者数10,000人 出店者数74団体	
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率
	「やぶきフロンティア祭り」の開催 来場者数 15,000人 出店者数 95団体 名誉町民の中畑清氏に協力いただき、フロンティアスピリッツ大賞を新たに実施	100 %
	目標達成に向けての後期の取り組み 来年度さらに良いイベントにするため、今回の課題等を整理し検証を行います。特に開催時期やフロンティアスピリッツ大賞、エリア設定等について検討を行います。	

7	地域ブランド化推進事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
---	-------------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	<p>数年後の道の駅のオープンを見据え、新商品開発や町産品全体のブランド化を含め検討を行います。</p> <p>また、ふるさと産品づくり実践協議会についても今後の方針について協議を行います。</p>
------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月～ ふるさと産品づくり実践協議会と協議 ・4月～「やぶチキくん」販売(町外1、町内4イベント) 随時 テレビ・ラジオ等による町内商品のPR出演(NHK・NHKラジオ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月 ふるさと産品づくり実践協議会と協議 ・9月 道の駅やぶき地域協議会を設立。新商品の開発について検討するブランディング・マーケティング部会を設置。
	後期	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅を見据えた今後の方針の決定

目標管理	成果目標・数値目標等	
	新商品開発や町産品全体のブランド化の今後の方針の決定	
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率
	<ul style="list-style-type: none"> ・道の駅オープンを見据えた商品開発を担うブランディング・マーケティング部会を設置。 ・矢吹町の地域ブランドを高めるため「やぶきフロンティア祭り」の開催、名誉町民の中畑清氏の協力による各種PR冊子の作成等を実施 	<p>60 %</p>
	目標達成に向けての後期の取り組み	
	<p>今年度中に新商品開発の基本方針を策定し、2月には道の駅やぶき地域協議会において試作品を開発し試作品発表会を開催します。</p> <p>また、地域ブランド力を高めるため、情報誌の作成やHP等を活用したPRを展開します。</p>	

8	中心市街地復興・街づくり支援事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
---	-------------------------	---------------	--------------

事業の概要・ 実施方針	<p>町の玄関口であり顔となる駅東口を中心とした地域において、「大正ロマンの館」を軸とした賑わい創出に取り組みます。</p> <p>また、都市整備計画、街づくり団体等の提案等実現に向けて協議を進めます。</p>
----------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)	
	前期	5月 大正ロマンの館2期工事開始 7月 大正ロマンの館3期工事開始 随時 商工会、関係団体等、指定管理者等との賑わい創出における協議	6月 大正ロマンの館2期工事 7月 指定管理者との協定締結 8月 大正ロマンの館3期工事	開始 開始
	後期	10月 大正ロマンの館竣工 11月 指定管理によるカフェ等の集客事業開始		

目標管理	成果目標・数値目標等		
	大正ロマンの館への来館者数2,000人を目指します。		
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率
	大正ロマンの館facebook開設 シェア21件		50 %
	目標達成に向けての後期の取り組み		
<p>11月の供用開始に向けた指定管理者との協議を綿密に行います。またカフェをはじめとした大正ロマンの館の利活用に関するPRを充実させ、中心市街地活性化に向けたイベントやワークショップ等を開催し、賑わいの創出に努めます。</p>			

9	矢吹産農産物PR事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
---	-------------------	---------------	--------------

事業の概要・ 実施方針	<p>昨年度の実績を踏まえ、今年度も東京農業大学と連携し、都内の「食と農の博物館」や複合施設スパイラル等において矢吹町産野菜のPRイベントを実施します。 また、現在矢吹町農産物のPR活動を担っている「やぶきぐるぐるノーカーズ」と連携し各種イベントに参加しPRを行います。</p>
----------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
前期	4月 新川中原イベント参加 5月 大沢CCイベント参加 7月 三鷹駅前商店街イベント参加	4月23日 三鷹コミセン祭り参加 5月21日 東農大125周年イベント参加 5月28日 三鷹コミセン祭り参加 7月16日 みたか商工まつり参加 7月31日 三鷹中央通り商店会夏祭り参加
後期	12月 東京農業大学と連携した都内イベントの開催 随時 各種イベントへの参加	

目標管理	成果目標・数値目標等	目標に対する達成率	
	三鷹市を中心としたイベント参加回数 5回以上 東京農業大学と連携したイベントの実施 来場者数500名以上		
	目標に対する前期までの成果 三鷹市を中心としたイベント参加回数 5回 東京農業大学と連携したイベントの実施 (5/21東農大125周年イベント) 来場者数500名以上	60	%
	目標達成に向けての後期の取り組み 12月23日に地方創生に係る三鷹連携事業として、三鷹マルシェイベントに参加する予定 また年明けには東京農業大学を中心にイベントに参加する予定		

10	農業担い手育成総合支援事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	---------------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	農業改善計画のフォローアップ、経営能力向上アップのための講演会等の開催、農業経営の法人化、法人経営への支援、地域営農の組織化支援等、担い手の育成、確保に向けた活動を支援します。
------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)		
	前期	地域連携推進員との協力により、認定農家、新規就農者への情報提供、意見集約を行います。(随時)	<ul style="list-style-type: none"> ・認定農業者の認定審査会の開催…6月、8月(17名認定) ・青年就農計画審査会(新規就農者)…8月(1名認定) 		
	後期	認定農家等向けの講演会、または研修会を開催します。			

目標管理	成果目標・数値目標等			
	担い手の確保として、2名以上の新規就農者を新たに確保します。4件以上の法人化設立の支援を行います。			
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率	
	前期の期間中において、認定農業者、17名、新規就農者、1名、と、担い手の育成、確保につながる活動を行った。 また、地域連携推進員との協力により、認定農家への情報提供、または農業経営における相談業務等、農業者への支援のを行った。		50	%
	目標達成に向けての後期の取り組み			
さらに担い手の確保に努め、新規就農者については1名以上の増を図る。また、給付金の支給、情報提供等、農業者への支援の拡充を図る。				

11	経営所得安定対策事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	------------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	<p>平成27年産米は取引価格が回復傾向となったが、未だ米価は低いままであるため、農業者の所得を確保する手段として本事業を位置づけ、転作作物として飼料用米等や大豆を推進し加入促進を図ります。そのため、地域間調整（とも補償）や飼料用米に町補助金を付けることで、概ね全ての水稻農家が経営所得安定対策に加入できるよう支援を行います。</p> <p>また、農業所得向上のため産地交付金の町優先枠を有効活用し支援を行います。</p>
------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	前期	5月 収入減少影響緩和対策受付窓口設置 5月～6月 経営所得安定対策の相談窓口の設置 6月末 申請期限	4月21日～22日 H27年度収入減少影響緩和対策交付申請会 6月1日～2日、13日～15日H28年度経営所得安定対策受付会
	後期	10月～3月 国交付金の支払い	

目標管理	成果目標・数値目標等		
	経営所得安定対策加入者640名 (H27実績630名)		
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率
	経営所得安定対策加入者579名 (H27実績630名)		<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">90</div> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">%</div>
	目標達成に向けての後期の取り組み		
次年度加入者増加に向けて、農家説明会を実施します。			

12	有機・特別栽培農業推進事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	----------------------	---------------	--------------

事業の概要・ 実施方針	<p>食の安心安全を推進するため、有機栽培及び特別栽培農業について調査を行い農業の振興施策を推進します。</p> <p>東京農業大学の協力の基、カブトエビを活用した有機農法の確立を目指します。</p>
----------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)	
	前期	<p>東京農業大学の協力のもと、水稻における有機栽培の実践として、カブトエビを活用した実践研究に取り組み特色のある農業を推進し、安心安全な食をPRします。</p> <p>6月3日 田植え</p>	<p>平成28年6月3日に大池地内のほ場にて田植えを開催しました。また、今年はカブトエビを増やすために、プールを作り様子を見てきましたが、多くの数が孵化しているのを確認しました。</p> <p>稲刈りについては10月17日開催予定</p>	
後期	<p>カブトエビ農法で生育した水稻を刈取り、農業による食育の実践を行います。</p> <p>10月下旬</p>			

目標管理	成果目標・数値目標等		
	<p>善郷小学校5年生及び中畑小学校5年生の児童による田植え及び稲刈りを実践します。</p> <p>協力者 大桃美代子校長 東京農業大学 長島教授 東京農業大学 学生 地権者 芳賀勝雄教頭</p> <p>前年はカブトエビのふ化を確認できなかったため、今年度は確認できるよう技術を習得します。</p>		
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率
	<p>6月3日に大桃校長、善郷小学校、中畑小学校の5年生等参集の下田んぼの学校の田植えを開催しました。また、東京農業大学の協力の下、カブトエビを増やすために専用のプールを作ったため多くの孵化したカブトエビが確認できました。</p>		<p>50 %</p>
目標達成に向けての後期の取り組み			
<p>10月17日の稲刈りに向けての準備 善郷小学校、中畑小学校の給食への収穫したお米の提供</p>			

13	耕作放棄地解消事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	------------------	---------------	--------------

事業の概要・ 実施方針	<p>耕作放棄地の解消策として、農業委員会を中心に、まちづくり団体、行政区等の協力を得て、それぞれの状況に応じた対策を実施します。事業の実施については県南農林事務所や農協関係機関と連携し、国等の事業を活用しながら解消を図ります。</p> <p>また、耕作放棄地を解消して、花等の植栽で景観形成の向上を目指し、町民の憩いの場になるよう推進します。</p>
----------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)	
	前期	5月～ 実施地区の検討。関係団体との協議。	<p>・9月 耕作放棄地解消に伴う補助金申請相談受付により、書類等作成支援。</p>	
	後期	国や県の事業を活用し、農業者からの申請に基づき耕作放棄地解消事業の支援を行います。		

目標管理	成果目標・数値目標等			
	<p>耕作放棄地解消により、町の景観美化へ繋がります。</p> <p>農業者からの2件以上の耕作放棄地解消事業申請により、解消事業の実施を図ります。</p>			
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率	
	<p>・耕作放棄地へ、景観形成を兼ねた油糧作物の作付けにより、28a 解消するため補助金の申請手続きを行いました。</p> <p>中町農地保存会 本城館地区</p>		50	%
	目標達成に向けての後期の取り組み			
耕作放棄地の現状把握に努め、また、解消事業に対する補助金の情報提供等、環境保全の向上を図ります。				

14	農地中間管理機構活用事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	--------------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	<p>近年、農業の後継者不足や担い手不足により、当町でも耕作放棄地が増えていく現状であり、非常に重要な課題となっております。</p> <p>そこで、県は農地バンクとして農地の貸し借りをスムーズに行うため「福島県農地中間管理機構」が設立されました。そこで機構を仲介役として農地の貸し借りをさらに円滑に進め担い手への集積・集約化を図ります。</p>
------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月 重点地区策定 ・7～9月 説明会 ・8月 町広報誌掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月重点地区3地区が指定 ・7～9月に説明会2回、調整会議1回実施
	<p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月 説明会 	

目標管理	成果目標・数値目標等		
	<p>貸借の重点地区を策定し、地区説明会や意向調査を行います。農地の出し手、担い手を広報誌で募集し、重点地区の人・農地プランを策定する。担い手のエントリーを20人増やします。</p>		
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率	
	<p>重点地区3地区中2地区を対し、農地の出し手・担い手に中間管理事業の推進が図れ、エントリーと農地賃貸申出書を提出いただきました。</p> <p>重点地区 境町・本郷町・大和内</p>	60	%
	目標達成に向けての後期の取り組み		
	調整会議や地区全体の説明会を実施します。		

15	有害鳥獣対策事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	----------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	農作物に被害を及ぼす恐れがある有害鳥獣（カラス、カモ、カワウ等）に対する被害を防止するため、有害鳥獣捕獲隊に駆除の委託をし農作物の被害軽減を図ります。根宿地区に巣食うサギのフン害を抑制させるため、サギの天敵である鷹を利用した追い払いを実施します。
------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	前期	有害鳥獣捕獲隊への年間委託契約を結び、有害鳥獣による農作物の被害が報告された場合は、被害の拡大を防ぐために捕獲体へ駆除の依頼を行います。	平成28年7月1日～平成28年9月2日まで町有害鳥獣捕獲隊による有害鳥獣の捕獲を行いました。 カモ類32羽 カラス1羽 カワウ1羽 また、シラサギの追い払いについては、依頼していた鷹匠所有のフクロウ、及びタカが夏の暑さにより死亡したと連絡があったため、フクロウ等による追い払いは断念し、ロケット花火による追い払いを行いました。
後期	有害鳥獣による農作物の被害が報告された場合は、被害の拡大を防ぐために捕獲体へ駆除の依頼を行います。		

目標管理	成果目標・数値目標等		
	農作物被害に係る有害鳥獣の捕獲を行います。 前期6月中旬(田植え後) 後期9月下旬(稲刈り前) カラス50羽 カモ 50羽 カワウ20羽 根宿地区のサギ撃退		
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率	
	平成28年7月1日～平成28年9月2日に有害鳥獣の捕獲を行いました。 カモ類32羽 カラス1羽 カワウ1羽 また今現在、9月15日～11月6日まで有害鳥獣の捕獲を行っている最中です。 シラサギの追い払いはタカによるものではなくロケット花火で行いました。	50	%
目標達成に向けての後期の取り組み			
稲刈りの時期に向けて、有害鳥獣の捕獲を行っていくと共に、被害があった場合早急に対応できるように準備してまいります。また、近年イノシシによる被害の報告が多くあるため、電気柵の導入を推奨してまいります。			

16	水田農業構造改革対策事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	--------------	---------------	-------

事業の概要・ 実施方針	町の基幹産業は農業であり、特に稲作については主要な作物ではありますが、近年の米価下落に伴い、年々農業者の所得が低減しているところでもあります。そこで強い農業を目指すために、新規需要米（飼料用米）作付や稲発酵粗飼料（WCS）用機械導入に対し町単独補助を行い、農業者の所得向上を推進します。
----------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)	
	前期	国の施策である経営所得安定対策に稲作農家が加入していただけるよう関係機関と連携し加入促進を図ります。 (6月末までに申請)	6月	経営所得安定対策受付会実施
後期	新規需要米の面積の確認を行い、該当農業者へ補助金を交付します。	7月	飼料用米等の面積確認	

目標管理	成果目標・数値目標等		
	4月～6月末	経営所得安定対策受付	
	7月～	現地確認および面積の確認	
	12月	補助金の交付	
	飼料用米 10a当たり10,000円の交付（面積に応じ案分する） WCS用稲収穫機械の導入（東西しらかわ農協）上乗せ助成		
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率
	飼料用米585,595㎡（前年:451,067㎡） WCS用稲70,208㎡（前年:32,100㎡） 合計655,803㎡（前年483,167㎡）	80 %	
	目標達成に向けての後期の取り組み		
	交付金の支払いに事務を進めます。		

17	ため池整備事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	----------------	---------------	--------------

事業の概要・ 実施方針	<p>老朽化が進み堤体等の改修が必要とされるため池については、農業用水の安定確保及び地震・台風等の災害時の安定性を確保するため順次改修に取り組みます。</p> <p>今年度は県営事業の採択を受けた、釜池（西長峰）について、ため池整備に係る測量・設計を行います。</p> <p>また、県のため池モニタリング池調査の結果、8000ベクレル超のため池が4か所確認できたため、H28年度に詳細調査を実施し、その結果をもとにH29年度以降に放射性物質の除去対策を行います。</p>
----------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	<p style="text-align: center;">前期</p> <p>釜池整備 4月：県へ事業引継ぎ 5月～9月：県協議・受益者協議</p> <p style="text-align: center;">後期</p> <p>10月～3月：県協議・受益者協議</p>	<p>釜池整備事業 4月21日 県へ引継ぎ 9月9日 地区住民説明会 随時 県と協議</p> <p>ため池放射性物質対策事業 5月 国へ交付金申請 8月 交付決定 8月 詳細調査発注 9月～ 調査実施中</p>

目標管理	成果目標・数値目標等		
	<p>釜池整備 ため池（釜池）整備に係る測量・設計（県営）の完了・調整 H28年度 測量、実施設計 H29年度～H31年度 工事施工・完了</p> <p>ため池除染 H28年度 詳細調査 H29年度～H30年度実施設計・対策施行</p>		
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率
	<p>釜池整備事業 県営事業へ引継ぎ完了 県営により測量・設計着手済</p> <p>ため池放射性物質対策事業 福島再生加速化交付金の交付決定済 詳細調査契約・着手済</p>		70 %
	目標達成に向けての後期の取り組み		
<p>釜池整備事業 随時 県、受益者等と協議 10月～3月 実施設計完了</p> <p>ため池放射性物質対策事業 10月～11月 調査・分析完了 12月～2月 対策実施について検討、受益者説明 3月 交付金完了報告</p>			

18	森林環境税交付金事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	------------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	<p>森林環境交付金事業は、基本枠事業及び地域提案型重点枠事業に二つの柱で成り立っています。</p> <p>基本枠事業については、身の回り森林に関心を持ち森林の大切さを学ぶ目的から、町内各小学校及び各種団体において森林環境学習や森林環境整備を実施します。</p> <p>また、地域提案型重点枠事業については、県産材を利用した施設の整備等の検討を図ります。</p>
------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
	<p>前期</p> <p>6月以降：森林環境学習の実施（町内各小学校）及び森林環境整備の実施（第二区自治会、こうすっぺ西側イメージアップ作戦）</p>	<p>4月 補助金交付決定</p> <p>5月 善郷、中畑小 環境学習実施</p> <p>6月 善郷、矢吹、中畑、三神小 環境学習実施</p> <p>9月 矢吹、三神小 環境学習実施</p> <p>9月 2団体へ補助金交付決定</p> <p>9月 重点枠事業の検討・エントリー申請</p>
	<p>後期</p> <p>10月～12月：平成29年度以降の地域提案型重点枠事業の検討</p>	

目標管理	成果目標・数値目標等	
	<p>引き続き森林環境学習の浸透や森林環境整備への住民参画を図ります。また、重点枠においては、平成29年度実施へ向けた、福島県産材を利活用した施設等の整備について実施検討を図ります。</p>	
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率
	<p>基本枠事業</p> <p>町内各小学校及び二区自治会、こうすっぺ西側へ遅延なく補助金を交付し、森林環境学習等を実施しました。</p> <p>重点枠事業</p> <p>都市整備課が平成29年度に整備する（仮称）中町ポケットパーク事業によるステージの壁材等や木製フェンスを県産材を利活用するため、重点枠事業のエントリーを福島県へ行きました。</p>	<p>50 %</p>
目標達成に向けての後期の取り組み		
<p>基本枠</p> <p>10月～2月 各団体等による事業実施（森林環境学習、木工クラフト教室、植樹活動等）</p> <p>3月 実績報告</p> <p>重点枠事業</p> <p>10月 福島県へ事業要望本申請</p> <p>随時 都市整備課と協議</p>		

19	日本型直接支払交付金事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	--------------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	<p>多面的機能支払交付金は、農業者等が共同で行う施設の保全活動、資源向上を図る活動と農業用施設の長寿命化のための活動に対して支援を行います。</p> <p>環境保全型直接支払交付金は、農業者が環境保全に効果の高い営農活動に対して支援を行います。</p>
------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	<p>前期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4～6月 実施状況報告確認 事業計画の認定 交付金申請 ・9月 補助金の交付 <p>後期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10～12月 説明会・研修会 ・10月 中間指導 ・3月 後期指導 	<p>多面的機能支払交付金</p> <p>4月 現地確認23地区 事業計画申請24地区</p> <p>5月 実施状況報告書23地区</p> <p>8月 補助金申請・交付24地区</p> <p>環境保全型農業直接支払交付金</p> <p>6月 事業計画申請 1地区</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	多面的機能支払交付金は、H28年度の活動組織は23組織から25組織を目標の推進します。	
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率	
	<ul style="list-style-type: none"> ・多面的機能支払交付金は、新規地区1地区（三城目上町）の推進ができました。 ・長寿命化の要望5組織（原宿、松倉、須乗本田、明新、西原） <p>平成27年度 23組織採択 平成27年度長寿命化 5組織採択</p>	50	%
	目標達成に向けての後期の取り組み	10月から長寿命化の事業計画、交付金申請等に取り組みます。 新規予定組織1地区のフォローアップに取り組みます。	

20	ふるさと水と土保全事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	-------------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	<p>隈戸川揚水機場の周辺の美しい水辺景観を地域の憩いの場として活用するべく、三十三観音史跡公園の管理を手助けしている地域住民の活動と有機的連携を図り、揚水機場及びその周辺の農業施設等の多面的機能の推進を図るとともに地域の子供たちや散策者への利便性の向上を図ります。</p>
------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)		
	前期	<p>4月～5月：補助金交付申請 6月～：事業実施</p>	<p>4月 補助金交付決定 5月～9月 ベンチ・表示板の検討 9月 自治会へ補助金交付決定</p>		
	後期	<p>10月～事業実施、次期計画の検討・策定</p>			

目標管理	成果目標・数値目標等			
	<p>第二区自治会と連携し、三十三観音史跡公園内へ案内板やベンチを設置し、散策者への利便性を向上します。</p>			
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率	
	<p>第二区自治会と協議のうえ、ベンチ・表示板の内容を決定しました。</p>		<p>50 %</p>	
	目標達成に向けての後期の取り組み			
<p>10月～2月 第二区自治会による事業実施（ベンチ設置、樹木等の表示板の設置） 3月 実績報告 随時 第二区自治会と協議</p>				

21	農業振興地域整備計画策定事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	-----------------------	---------------	--------------

事業の概要・ 実施方針	農用地の高度利用を促進し、優良農地を保全するために概ね10年間を目安に「農業振興地域整備計画書」を策定します。矢吹町では平成19年5月に総合見直しを完了し次回の総合見直しに向けて、随時見直し及び農用地の動向調査を行います。
----------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)	
	前期	前回の総合見直しから概ね10年が経過したため本年度が総合見直しを実施することになるため、町の方針を決定するため、関係機関との打ち合わせを行います。	4月 業者との打ち合わせ	
	後期	町の方針を決定したのち、地域への説明会の開催、意見の聴取等を行い総合見直しを行います。		

目標管理	成果目標・数値目標等		
	平成28年度中に総合見直しを完了させます。		
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率
	業者との打ち合わせを行い、業者が出来る部分を調整しました。		20 %
	目標達成に向けての後期の取り組み		
変更に向けて関係機関との調整を行います。			
農業振興地域内に企業が参入予定のため、その企業の農振除外が完了後総合見直しを進めます。			

22	ふくしま森林再生事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	------------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	原子力災害による放射性物質拡散の影響で停滞している森林整備・林業生産活動を活性化させるため、間伐等の森林整備と放射性物質対策を一体的に行い、低下しつつある森林の公益的機能・多面的機能を回復させながら、森林内の放射性物質の低減を図り「ふくしまの森林」を再生させるとともに、森林整備の促進を図ります。
------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	<p>前期</p> <p>4月～10月：第2地区年度別計画書作成(井戸尻・堰の上・大和内) 4月～6月：森林整備実施(東の内地区) 6月～：森林整備実施(柿の内地区) 随時：地権者協議・説明会</p> <p>後期</p> <p>10月～3月：森林整備実施・完了(柿の内地区)</p>	<p>4月～ 第2地区調査・測量実施 4月～8月 東の内地区整備実施(繰越事業) 6月 補助金交付決定 8月～ 柿の内地区着手</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	東の内地区(3ha)森林整備完了。 柿の内地区(40ha)森林整備完了。 第2地区(井戸尻・堰の上・大和内)年度別計画書策定完了	
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率
	東の内地区(3ha)森林整備完了 柿の内地区(40ha)森林整備着手済 第2地区同意取得 111名取得	50 %
目標達成に向けての後期の取り組み		
～12月 第2地区測量・設計完了 ～3月 事業実施 3月 実績報告 随時 所有者、福島県等との協議		

23	道の駅推進事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	---------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	地域振興の拠点、復興のシンボルとなる道の駅にするため、基本構想のコンセプトに基づいた基本計画を策定し、検討部会を設置しソフト事業の検討を行います。併せて、軽トラ市等との連携についても検討します。
------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	<p>前期</p> <p>5月 基本計画業務の契約 6月 部会委員の公募 7月 検討部会、委員会の開催 随時 全国の道の駅事例調査、視察</p> <p>後期</p> <p>11月 検討部会、委員会の開催 1月 検討部会、委員会の開催 3月 基本計画の策定</p>	<p>●視察 6月 6カ所の道の駅を視察</p> <p>●地域協議会 9月 道の駅やぶき地域協議会を立ち上げ、道の駅事業部会、ブランディング・マーケティング部会を設置</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	基本構想のコンセプトに基づいた直売所やレストラン等の施設等に係る基本計画の策定。 全国の道の駅の事例調査 20箇所以上	
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率	
	道の駅視察…6カ所 地域協議会の設立・開催 道の駅事業部会の開催 ブランディング・マーケティング部会の開催	50	%
	目標達成に向けての後期の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・月に1度「道の駅事業部会」「ブランディング・マーケティング部会」を開催 ・道の駅の視察、他道の駅の事例調査 ・今年度中に道の駅実施計画、新商品開発計画等を策定予定 ・プレ道の駅の検討 	

24	真夏の夜の鼓動事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	-----------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	真夏の一大イベントとして大池公園水上ステージを舞台に、町内外の太鼓団体の競演による祭りを開催します。 迫力ある太鼓の競演や大池公園の水面を幻想的に彩る灯籠等の演出により、大池公園と矢吹町のPRを行います。
------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何を行ったか)
	<p>前期</p> <p>4月 役員会の開催 5月 実行委員会総会 随時 役員会及び実行委員会 7月30日 第25回真夏の夜の鼓動開催</p> <p>後期</p> <p>10月 役員会、実行委員会(反省会) 2月、3月 次年度にむけての検証</p>	<p>4月20日 第1回役員会 5月9日 第1回実行委員会 5月20日 第2回役員会 6月30日 第2回実行委員会 7月21日 第3回役員会 7月27日 第3回実行委員会 7月30日 開催</p>

目標管理	成果目標・数値目標等		
	来場者数 3000人以上 (H27 3,000人) 太鼓団体の数 8団体以上 (H27 8団体)		
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率	
	梅雨明け快晴でイベント実施 来場者数 5000人(過去最高) 出演太鼓団体 10団体	90	%
目標達成に向けての後期の取り組み			
今年度の取り組みの課題等を整理し、次年度へ向けて検証するため、早い段階で役員会、実行委員会を開催します。			

25	地域観光再発見事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	-----------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	町のゆるキャラである「やぶきじくん」をはじめ、平成25年度から始動したご当地アイドル「しゅんらんガールズ」など、矢吹ブランドの創出や「食」「文化」などの特徴を生かし、町の魅力を町内外へPRするための取り組みを行います。また、4月から6月までアフターDCが開催されることや10月末まで「コードF-6」が実施されるため、大池公園や史跡等の名所、ゴルフ場、矢吹復興産業祭、やぶき夏まつり、真夏の夜の鼓動などのイベントに会場いただけるよう積極的にPRし、観光客数の増加を目指します。さらに今年度より、やぶき観光案内所やまちPR係等より季節の移り変わりや観光情報をSNS等を活用し魅力的な矢吹町を発信します。
------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	<p>前期</p> <p>4月～6月 アフターDC 4月 しゅんらん春祭り 5月 ふくしまおおぞらフェスタ2016 随時 FBページ及びHPの更新、PR素材資料の収集(観光資源調査) 随時 イベント参加、周知</p> <p>後期</p> <p>随時 FBページ及びHPの更新、PR素材資料の収集(観光資源調査) 随時 イベント参加、周知</p>	<p>4月～6月 アフターDC 4月24日 しゅんらん春祭り 5月14日 ふくしまおおぞらフェスタ2016 6月25日 しらかわQuality矢吹の日 7月30日 真夏の夜の鼓動 9月11日 やぶきフロンティア祭り 9月18日、19日 風とロック芋煮会 FBページ及びHPの更新、PR素材資料の収集(観光資源調査)</p>

目標管理	成果目標・数値目標等	
	観光客入れ込み数 130,000人以上	
	<p>※参考</p> <p>平成27年度 約127,000人 平成26年度 約124,000人 平成25年度 約119,000人</p>	
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率
<p>平成28年度 上半期 60,100人 コードF-6 9月末集計 8,639人 HPアクセス数 4月～9月 563,182件 facebookアクセス数 5月～9月 86,393件</p>	<p style="text-align: center; font-size: 2em;">60 %</p>	
目標達成に向けての後期の取り組み		
首都圏イベントへ参加しPR活動を行うほか、facebook及びHPの更新を定期的に行い、積極的に情報発信を行います。		

26	ふるさと思いやり基金事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	--------------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	<p>「さわやかな田園のまち・やぶき」のふるさとづくりに賛同する人々の寄附金を財源として、多様な人々の参加による個性豊かな活力のあるまちづくりを推進します。また矢吹町のPR、来町者の増加につながるよう返礼品の充実を行い、有効な自主財源となるよう事業の展開を図ります。</p>
------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)		
	前期	6月 新たな返礼品の検討 8月 新たな返礼品の決定、カタログ作成 随時 広報、ホームページ等による周知・PR ・ 寄附者への特典内容の検討(随時)	6月 新たな返礼品の検討 8月 新たな返礼品の決定、カタログ作成 9月15日 新カタログ完成 随時 広報、ホームページ等による周知・PR		
	後期	随時 広報、ホームページ等による周知・PR 返礼品の見直し			

目標管理	成果目標・数値目標等				
	目標寄附件数 1000件 (H27年度実績 549件) 目標寄附金額 50,000,000円 (H27年度実績 18,361,000円)				
	目標に対する前期までの成果			目標に対する達成率	
	寄附件数(9月末) 133件 寄附金額(9月末) 4,130,000円 9月～ 新カタログの運用			<div style="font-size: 2em; font-weight: bold;">50</div> %	
	目標達成に向けての後期の取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・ 周知活動の強化、PR方法の検討 ・ 寄附者特典内容の検討 ・ 年末にかけて申し込みが増えるため、事務処理をスムーズに行います。 				

27	タウンプロモーション事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	--------------	---------------	-------

事業の概要・実施方針	日本三大開拓地としてブランド化を図り、開拓というキーワードのもと、イメージ戦略、町のPRを実施します。平成27年度に作成したPR動画や情報誌等を駆使し、矢吹町の魅力を町外に発信するほか、名誉町民となった中畑清氏の協力をいただき、メディアを活用した町のPRを行います。
------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何を行ったか)		
	前期	5月 タウンプロモーション事業契約 6月 チーム就任、就任後の事業展開について検討、フロンティア・スピリット大賞の検討 8月 中畑清氏の協力のもとプロモーション	5月 タウンプロモーション事業契約 5月 やぶきフロンティアーズ記者会見 9月 「やぶきフロンティア祭り」を開催し、フロンティアスピリッツ大賞の実施		
	後期	10月 フロンティア・スピリット大賞の実施			

目標管理	成果目標・数値目標等			
	フロンティア・スピリット大賞の実施 中畑清氏の協力による町のプロモーション実施 PR用コンテンツの活用			
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 矢吹フロンティアーズ結成 ・ フロンティアスピリッツ大賞の実施 ・ フロンティア写真館の実施 ・ 町HPのフロンティア特設ページ設置 ・ 広報フロンティアページの制作 		60	%
	目標達成に向けての後期の取り組み			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報誌第2版の検討 ・ 矢吹フロンティアーズの今後の取り組みについての検討 ・ タウンプロモーション計画の策定 				

28	矢吹駅施設管理事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	-----------	---------------	-------

事業の概要・ 実施方針	<p>駅舎に併設するコミュニティプラザの施設を指定管理者に委託し、施設機能の適正な運営と効率的な維持管理に努めます。今年度は利用者の声を吸い上げるためアンケート調査を実施し、駅の利便性向上を図ります。</p> <p>また、豊夢基地と運営協議を随時行い、町PRの拠点としても利活用の推進を図ります。</p>
----------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	前期	4月 指定管理業務の年度協定の締結及び運営協議(前期) 毎月 指定管理状況報告及び運営協議	指定管理業務委託の年度協定締結 指定管理状況報告及び運営協議の開催(毎月定例会)
	後期	10月 指定管理業務の運営協議(後期) 毎月 指定管理状況報告及び運営協議	

目標管理	成果目標・数値目標等		
	アンケート調査の実施 100名 駅舎を利用したイベント 1回 駅舎における施設破損事件 0件		
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率
	駅舎を利用したイベント(やぶきじ君を探せスタンプラリー 参加者数620名、光南高校生12名) 駅舎における破損事件0件		70 %
	目標達成に向けての後期の取り組み 10月以降アンケート調査を実施し駅の利便性向上を図ります。		

29	矢吹産米等販路拡大推進事業	総合計画・復興計画関連事業	産業振興課
----	----------------------	---------------	--------------

事業の概要・ 実施方針	<p>今年度は従来のPR事業のほか、販路拡大推進協議会が事業主体となり、三鷹市との交流事業に取り組めます。</p> <p>今年度は地方創生加速化交付金を活用し、三鷹市おやじの会の受け入れを行うほか、町農産物のPRとしてインターネット販売やチラシ販売について検討を行います。</p>
----------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何を行ったか)	
	前期	5月 三鷹市との打合せ 6月～8月 おやじの会との協議 ネット販売等の検討 9月 おやじの会（保護者、児童等） の受け入れ	8月 三鷹市との打ち合わせ 9月 三鷹市交流事業「だっしゅ村」の実施 （受け入れ）、やぶきフロンティア祭りに参加 9月 三鷹市との打合せ	
後期	10月以降 ネット販売あるいはチラシ 販売の実施			

目標管理	成果目標・数値目標等		
	三鷹市おやじの会の受け入れ、仕組みづくり 矢吹町産農産物等のネット販売等の仕組み構築		
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率
	9月 三鷹市交流事業「だっしゅ村」の実施（9/10-9/11）53名、町の 野菜やブランド豚等のPR実施		50 %
目標達成に向けての後期の取り組み			
12月23日に三鷹マルシェに参加予定 ネット販売の検討、来年度へ向けたグリーンツーリズム事業の検討			

30	事務処理のマニュアル化の推進	行財政改革実行計画	産業振興課
----	-----------------------	-----------	--------------

事業の概要・ 実施方針	<p>多岐多様に渡る各種事務において、遅滞やミスを防ぎ各種事務における精度確保を図り、町民満足度を向上させるためのマニュアル整備を進めます。</p> <p>なお、確認漏れ等を防ぐためのチェックリストを付帯し事務業務の精度を向上させます。</p>
----------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何を行ったか)	
	前期	<p>4月 マニュアル作成手順等の検討</p> <p>5月 マニュアル作成計画策定</p> <p>6月 マニュアル作成開始</p>	<p>4月～ マニュアル作成手順等の検討実施</p> <p>7月～ マニュアル作成開始</p> <p>適宜 課内会議実施</p>
	後期	<p>10月 検証作業</p> <p>12月 マニュアル整備</p>	

目標管理	成果目標・数値目標等		
	<p>全事務事業におけるマニュアルを整備し、職員への活用徹底及び情報共有を図り、住民サービスの向上を目指します。</p>		
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率	
	<p>各事務事業に関する留意すべき点の洗い出し、及びチェック体制の徹底強化を行いました。</p>	50	%
	目標達成に向けての後期の取り組み		
	<p>所管事務及びイベントが多く、重複する事務処理等においてのマニュアルは統合させるなど、煩雑化を防ぐよう工夫し取組みます。</p>		

31	地方創生の展開	行財政改革実行計画	産業振興課
----	---------	-----------	-------

事業の概要・ 実施方針	<p>矢吹町まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ、基本目標である「矢吹町における安定した雇用を創出する」「矢吹町への交流・流入人口を増やす」の実現を目指すため、地方創生に係る交付金を活用し取り組みます。</p> <p>また、今年度は地方創生加速化交付金2次募集があるため、提案を行い、地方創生の確実な展開を図ります。</p>
----------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)	
	前期	4月 事前協議 5月 計画書提出 6月以降 採択の可否	5月 計画書提出 8月 加速化交付金の事業採択	
後期	9月以降 地方創生加速化事業の展開			

目標管理	成果目標・数値目標等		
	地方創生の展開		
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率	
	加速化交付金の事業採択を受けて、地域協議会を9月に設立	70	%
目標達成に向けての後期の取り組み			
今後、設立された地域協議会・部会を中心に、加速化交付金事業計画に基づき地方創生の展開を図る。			

32	内部管理経費の節減	行財政改革実行計画	産業振興課
----	-----------	-----------	-------

事業の概要・ 実施方針	節電、印刷用紙の裏面利用をするなどし、歳出削減に努めます。
----------------	-------------------------------

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)		
	前期	5月 前年度諸経費分析及び削減方法の策定 6月～削減方法の職員周知徹底 随時 電気製品の節電、裏紙活用	4月～ 節電、印刷時における裏紙等の使用について課員へ徹底 適宜 課内会議により予算執行状況の把握と経費削減についての協議を実施		
	後期	前期継続			

目標管理	成果目標・数値目標等				
	前年比5% (254,000円) 以上となる経費削減を目指します。				
	目標に対する前期までの成果			目標に対する達成率	
	昼食時、不在時の照明オフ、パソコンモニターの電源オフを徹底し、また通知文等以外の印刷の裏紙使用も徹底しました。			50	%
	目標達成に向けての後期の取り組み				
継続して周知徹底を図り、目標達成に努めます。					

33	公共施設の長寿命化・統廃合の推進	行財政改革実行計画	産業振興課
----	------------------	-----------	-------

事業の概要・ 実施方針	「大正ロマンの館」について、管理・保守マニュアルを整備し、定期点検を行うなどし、来場者が安心安全に利用を行えるようにします。
----------------	--

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	<p>前期</p> <p>5月 管理・保守マニュアルについて設計及び工事請負者と協議検討 9月 管理・保守マニュアル整備</p> <p>後期</p> <p>11月 指定管理開始以後、マニュアルに沿った定期点検を実施</p>	<p>5月～ 設計者と管理保守に関するマニュアル作成に関する検討開始 7月～ 指定管理者と管理運営に伴う協議開始</p>

目標管理	成果目標・数値目標等		
	管理・保守マニュアル策定		
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率	
	指定管理に関する保守計画を作成しました。	50	%
	目標達成に向けての後期の取り組み		
	11月の修復工事完成後、設備における安全性を点検し、定期的な点検マニュアルを作成します。		

34	事務事業の民間委託の推進	行財政改革実行計画	産業振興課
----	--------------	-----------	-------

事業の概要・実施方針	「民間委託に関する基本方針」に基づき、事務事業の外部委託を常に念頭に置き、効率効果的な行政運営に心がけ、経費削減と投資効果による財政の健全化と住民満足度の向上を図ります。
------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	前期	随時 指定管理・委託契約 随時 各契約内容の見直し 随時 既存事務事業の指定管理・業務等委託の検討	随時 各業務等における指定管理・委託契約を締結しました。 随時 契約の際、各契約内容の見直し協議を実施しました。
後期	10月以降 中間検証及び翌年度契約内容等に関する検討協議		

目標管理	成果目標・数値目標等		
	事務事業の拡充及び、職員残業の前年比5%（59時間）以上を抑制します。		
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率
	ノー残業デーの徹底、事務やイベント従事の分散化を図りました。		50 %
目標達成に向けての後期の取り組み			
業務委託内容、指定管理契約内容の中間検証を行い、翌年度の経費見直しを行います。また効果の薄いと判断される事業イベント等について、聖域を設けない、打ち切りを視野に入れた検討を行い、職員の残業や休日出勤を抑制します。			

35	時間外勤務命令の抑制	行財政改革実行計画	産業振興課
----	------------	-----------	-------

事業の概要・ 実施方針	<p>各事務事業の年間・月別スケジュールの内容について、課内・係内会議を定期的実施し、進捗状況の把握、重点的に取り組むべき事案の共有化及び指示を明確化しながら、各職員にかかる事務等負担を分散化させるなど調整を行い、慢性的な残業、特定の職員だけの残業を無くします。</p> <p>また、職員に退庁時間17時15分を徹底し、止むを得ない残業がある場合は、所属係長等と協議し命令を受けた残業をすることとし、時間外勤務の管理を更に徹底します。</p>
----------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等	前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)
	<p>前期</p> <p>随時 課内会議 随時 係内会議 随時 事務事業の検証</p>	<p>4月～ 課内会議や係内会議を定期的実施し、事務事業の進捗状況を共有し、イベント等にあっては係りを越えた役割分担などを行い、事務事業を効率的に進めました。</p>
	後期	前期同様

目標管理	成果目標・数値目標等	
	職員残業の前年比5%（59時間）以上を抑制します。	
	目標に対する前期までの成果	目標に対する達成率
	<p>昨年と比較し、係が増え、また事務事業が増加しているものの、昨年度と同等以下の残業時間（一人当たり51時間）に抑制できているため、事務分担及び効率化が図られている。</p> <p>H28 一人当たり51時間 H27 一人当たり60時間</p>	<p>70 %</p>
	目標達成に向けての後期の取り組み	
	効果が薄いと判断される事務事業及びイベント等について、聖域を設けず、打ち切りを視野に入れた検討を行い、さらに職員の残業や休日出勤を抑制します。	

36	行政情報の積極的な発信	行財政改革実行計画	産業振興課
----	-------------	-----------	-------

事業の概要・ 実施方針	今年度まちPR係が創設されたため、ホームページの内容の前面見直しを行うほか、動画やSNSを活用し、観光案内所と連携しながら積極的な情報発信を行います。
----------------	---

進行管理	実施方法・手段・スケジュール等		前期の実施状況(いつ・何をを行ったか)	
	前期	5月 ソーシャルメディアに関するガイドラインの作成、積極的な情報発信 5月～8月 ホームページの見直し	5月	町公式facebookの運用開始
	後期	9月 ホームページ、アプリの本格運用 12月 暮らしの便利帳の作成	9月	町ホームページのリニューアル

目標管理	成果目標・数値目標等		
	ホームページ・アプリの本格運用、facebookの運用開始 暮らしの便利帳の作成		
	目標に対する前期までの成果		目標に対する達成率
	ホームページ・アプリの本格運用開始 町公式facebookの運用開始		70 %
	目標達成に向けての後期の取り組み		
引き続き、様々な媒体を活用し情報発信を展開します。 「暮らしの便利帳」は11月に完成予定、現在68社の企業等が協賛見込みです。			